

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく 事業実績評価(平成27年度分)

< 掲載事業について >

ページ	事業名
1	若年層の結婚への意欲啓発事業
2	移住・定住情報提供事業
3	介護人材育成促進事業
4	ICTの活用による地域包括ケア情報ネットワーク構築事業
5	地域資源を活用した観光振興事業
6	消防団員確保事業
7	潜在保育士就業促進事業
8	創業者支援事業
9	妊娠に向けた支援事業
10	民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点創出事業
11	空家利活用推進事業

< 自己評価の選択肢について >

高い	目標達成に非常に効果的であった
	目標達成に相当程度効果があった
中	目標達成に効果があった
	目標達成に効果がなかった
低い	目標指標無し
-	その他

瑞 穂 市

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業実績評価（平成27年度分）

総合戦略事業01(若年層の結婚への意欲啓発事業)

所管

秘書広報課

重点施策該当 - まち・ひと・しごと創生総合戦略該当 基本目標1-(1).若い世代の結婚・出産に関する意欲喚起

施策
・市内に立地する大学の学生を中心に、未婚者を対象にしたセミナー等を開催します。

主な事業
地方創生トークショー業務 -
- -
- -
- -

事業内容
朝日大学と連携し、未婚者に対し結婚への意欲を高めるための啓発トークショーを開催し、若者の結婚・妊娠・出産・子育てへの機運を醸成するための啓発を実施
委託料 1,900千円
トークショーポスター印刷 50千円
セミナー開催広告料 130千円
意向調査等消耗品費 8千円

年度別実施計画	27年度(実績)		28年度(計画)		29年度(計画)	
	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)	事業費(千円)
地方創生トークショー業務	2,088		大学祭と連携した婚活イベント	-	-	-

目標指標(KPI)		単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値
結婚に対して意欲が低かった対象者がトークショーによって結婚への意欲を高めた割合(参加者のうち)		%	-	37.5	30
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

自己評価
目標達成に非常に効果的であった
結婚に対する一定の意欲向上が得られた。

総合計画等評価
審議会評価
目標達成に有効であった
目標達成に有効とは言えない
コメントは別紙のとおり

今後の方向性
(審議会評価後記入)

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業実績評価(平成27年度分)

瑞穂市総合計画等評価審議会のコメント

事業	総合戦略事業 01	若年層の結婚への意欲啓発事業	担当課	秘書広報課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の段階から結婚に対する意識を高めるのは、良いことである。 ・大学と連携し、ターゲットを巻き込むことができている、良かった。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の集客には一段の工夫が必要。 ・実際の参加者には、メインターゲットではない高齢者が多かった。 ・若年層への事業としては対象者数が少ない。参加者を増やすようPR方法の工夫を。 ・継続しなければ意味がないのではないかな。 		
	提案・要望点	<p>< 事業内容について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内在住の若い世代や結婚適齢期の方にターゲットを絞った方が効果的ではないか。 ・啓発だけでなく交際、結婚の成果を上げることが必要。 ・何組結婚したかなど追跡調査が必要。 ・結婚適齢期の未婚女性が結婚の意欲を持つよう、常時啓発広報が必要では。 ・県の「ぎふマリッジサポートセンター」等との連携による相乗効果を図ってはどうか。 ・結婚とはどういうものかということからサポートが必要では。 <p>< 事業継続について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地道な活動が大切である。 ・朝日大学との啓発活動の継続が望まれる。 <p>< K P I (目標指標) について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の性別、年齢、出身地(居住地)の傾向をK P Iに反映してはどうか。 ・K P Iを参加者数に変更してはどうか。 		
	疑問点			

総合戦略事業02(移住・定住情報提供事業)		所管	秘書広報課			
重点施策該当	-	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標4-(3).移住促進			
施策	・瑞穂市の魅力や移住・定住にかかる施策の情報を紹介する専用のWEBサイトを新たに構築します。					
主な事業	瑞穂市移住定住情報提供事業に伴う魅力発信サイト構築業務		-			
	-		-			
	-		-			
	-		-			
事業内容	瑞穂市の魅力や移住・定住化施策情報などを紹介する専用サイトを構築し、移住・定住を促進することを目的に実施			委託料 1,092千円	講師謝礼(2名) 10千円	
年度別実施計画	27年度(実績)	事業費(千円)	28年度(計画)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)
	魅力発信サイト構築業務	1,102	魅力発信サイトの内容充実	-	魅力発信サイトの内容充実	-
目標指標(KPI)		単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値	
専用サイトへのアクセス件数		件/年	-	0	20,000	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
自己評価	目標達成に効果があった	瑞穂市魅力発信サイト（専用サイト）のベースは完成。今後はコンテンツを充実させ、KPIの達成を目指す。				
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり				
	目標達成に有効とは言えない					
今後の方向性 (審議会評価後記入)						

事業	総合戦略事業 02	移住・定住情報提供事業	担当課	秘書広報課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に対する方策は確実に実施されていると思われる。 ・非常に内容の濃い事業であり、継続していただきたい。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト開設までは達成されているが、一層のコンテンツ充実が急務である。(現状はハコモノ状態) ・ターゲットのニーズを把握した上で構築すべきではないか。 ・内容は、瑞穂市に住んでいれば分かることを改めて検証したに過ぎない。 ・継続しなければ意味がないのではないか。 		
	提案・要望点	<p>< 事業内容について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の移住を促進するには子育て・教育が充実しているまちを目指し、PRすることが必要。 ・MSJ等の中学生と連携するなど展開を発展できないか。 ・ホームページへのアクセス数を増やす方法を考えるべき。 ・厳しい目標達成のため、PR方法を工夫してもらいたい。 ・観光よりも仕事など生活面での情報発信をしてもらいたい。 ・地域の交流やベッドタウンならではのよさをPRしてはどうか。 ・マスコミを利用し上手くPRしてはどうか。 <p>< 事業継続について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイトは更新して価値を持つものであるため、継続的な取組みを希望する。 <p>< KPI (目標指標) について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセス数が無いため、現時点での評価は難しい。 		
	疑問点	<ul style="list-style-type: none"> ・このサイトをどのようにPRしているのか。 市ホームページとの連携、穂積駅圏域拠点化事業との連携、市PR系事業との連携など 		

総合戦略事業03(介護人材育成促進事業)

		所管	地域福祉高齢課			
重点施策該当		○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当			
		基本目標3-(4)地域の福祉・医療体制の充実				
施策	・介護現場における人材不足を想定し、現場労働体験や資格取得支援等による、市内での介護人材の育成・確保を図ります。					
主な事業	介護人材育成促進事業		-			
	-		-			
	-		-			
	-		-			
事業内容	介護の現場における慢性的な人材不足に対応するため、市域介護人材の育成と確保を目的として、介護事業所での現場労働体験をしながら、介護職員に必要な資格取得研修を実施し、修了者には介護事業所での正規雇用へつなげ、生活総合支援体制の整備を実現する事業				委託料	7,899千円
年度別実施計画	27年度(実績)		28年度(計画)		29年度(計画)	
	事業費(千円)		事業費(千円)		事業費(千円)	
	介護人材育成促進事業		介護人材育成促進事業		未定	
	7,899		3,000		未定	
目標指標(KPI)			単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値
ヘルパー2級取得者(受講者数に対する割合)			%	-	95	80
介護事業所への正規雇用者数(受講修了者数に対する割合)			%	-	27	20
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	介護人材の育成に一定の効果があった。				
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり				
	目標達成に有効とは言えない					
今後の方向性 (審議会評価後記入)						

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業実績評価(平成27年度分)

瑞穂市総合計画等評価審議会のコメント

事業	総合戦略事業 03	介護人材育成促進事業	担当課	地域福祉高齢課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 59名受講のうち16名が正規雇用というのは高い効果があったと考えられる。 ・ KPIに対し一定の成果があった。実績は評価できる。 ・ 目標としては面白い事業。市内での人材育成という面で有効であったのではないか。 ・ 研修を受講しただけでなく、実際に雇用された人が多かったところがよい。 ・ 介護人材は不足しているため、人材を育成する意味があったと思われる。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費との費用対効果が判断できない。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護人材不足は深刻であるため、実際の雇用に繋がる支援をしてほしい。 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次の目標と展開が必要ではないか。 ・ 今後発展させていくことが大切では。 		
	疑問点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者数は何人か 介護初任者研修 20名、介護福祉士実務者研修 40名 ・ 資格取得者数は何人か 介護初任者研修 19/20名 ・ どの事務所へ何人採用されたか 受講後就職 1名(有料老人ホーム) 既に就労していて引き続き勤務の方 15名 (グループホーム 2名、デイサービス 2名、有料老人ホーム 2名、特別養護老人ホーム 1名、 デイケア 2名、老人保健施設等(複合) 5名、診療所 1名) 		

総合戦略事業04(ICTの活用による地域包括ケア情報ネットワーク構築事業)		所管	地域福祉高齢課			
重点施策該当	-	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標3-(4).地域の福祉・医療体制の充実			
施策	・介護現場における人材不足を想定し、現場労働体験や資格取得支援等による、市内での介護人材の育成・確保を図ります。					
主な事業	ICT活用による地域包括ケアネットワークシステム導入		-			
	-		-			
	-		-			
	-		-			
事業内容	在宅介護拠点を含めた、市と市内・外の介護保険関係事業者の情報共有や連絡等を行うサイトにより、事業所の空き情報や求人情報、市等からの連絡情報のやり取りを行う。		委託料	3,391千円		
年度別実施計画	27年度(実績)	事業費(千円)	28年度(計画)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)
	地域包括ケアネットワークシステム導入	3,391	在宅介護・地域包括拠点ネットワークシステム構築、サーバ調達等	4,400	未定	未定
目標指標(KPI)			単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値
地域包括ケアに係る拠点（介護事業所等）の拡充			施設/年	-	3	3
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	目標としていた地域包括ケア拠点の3施設拡充を含め、市と事業所及び事業所間の情報共有の体性がなされ、目標を達成した。				
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり				
	目標達成に有効とは言えない					
今後の方向性 (審議会評価後記入)						

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業実績評価(平成27年度分)

瑞穂市総合計画等評価審議会のコメント

事業	総合戦略事業 04	ICTの活用による地域包括ケア情報ネットワーク構築事業	担当課	地域福祉高齢課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアネットワークの導入は事業として有効である。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・どれだけ活用できるかが疑問である。 		
	提案・要望点	<p>< 事業内容について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次は、拠点を生かした活動内容の充実を図るべき。 ・ハードの整備のようであるので、今後はソフト面の効果的運用を期待する。 <p>< 事業継続について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これを継続・発展させていくことが大切。 <p>< K P I (目標指標) について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・このシステムによって具体的に事業の効果あるいは受益者の便益の向上にどの程度役立ったのか具体的な検証が必要である。 ・アクセス数をK P Iにしてはどうか。 		
	疑問点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の求人情報も載っているのか。 現在のところ、求人情報までは掲載していない。 事業所間での連絡に使用できる環境にはあり、利用の方法としては可能と考えている。 		

総合戦略事業05(地域資源を活用した観光振興事業)		所管	商工農政課			
重点施策該当	-	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標4-(1).観光力の向上			
施策	・中山道や美江寺宿、従来の特産品等を観光資源として見直し、その活用と外部へのPRを促進します。					
主な事業	地域資源を活用した観光振興事業		-			
	-		-			
	-		-			
	-		-			
事業内容	県内にある中山道17宿は、「岐阜県の宝物」の認定を受けており、市内にあるその1つの「美江寺宿」の知名度は低く、地域観光資源としての活用がなされていないため、農産物等市内特産品のPRなどと併せて魅力ある観光資源としてこれを活用し、市域の魅力向上を図り地域の活性化につなげるための事業		地域資源観光活性化補助金(2件) 5,700千円 アンケート集計委託料 60千円 特産品のPR提供品 200千円			
年度別実施計画	27年度(実績)	事業費(千円)	28年度(計画)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)
	地域資源を活用した観光振興事業	5,960	観光振興計画策定、地域資源活性化補助等	6,600	地域資源活性化補助等	3,350
目標指標(KPI)		単位	基準値	H28.5実績値	H28.3目標値	
市域観光資源の認知度の向上		%	-	3.5	20	
市域観光資源の魅力度の向上		%	-	16.3	20	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
自己評価	目標達成に効果があった	年々認知度は向上しているが、まだまだ行き届いていない。魅力度は、訪問者の多数が魅力を感じており、今後も引き続きアピールを継続する。				
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり				
	目標達成に有効とは言えない					
今後の方向性 (審議会評価後記入)						

事業	総合戦略事業 05	地域資源を活用した観光振興事業	担当課	商工農政課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容は妥当と思われる。 ・看板は見映えするようになった。 ・観光振興のとっかかりとしてはよいのではないか。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業ではあるが、効果が分かりにくい。 ・他の「魅力発信」を含む事業との連携が重要では。 ・従来よりアピール度は向上したが、それぞれの資源の連携が取れていないのでは。 ・PRを懸命にしているが、実績が伴っていない。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・美江寺宿は、まち歩きが楽しくなるような(「ぶらタモリ」のような)取組みもできないか。 ・美江寺宿を中心とした中山道にモニュメントや歴史を感じる施設を造り、人を呼び込む観光地化すべき。 ・観光振興は地域住民、特に熱意のある市民との連携が必要である。 ・マスコミを上手く活用しPRして欲しい。 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ認知度が低いと思われ、継続が必要。 <p><KPI(目標指標)について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPIの見直しが必要ではないか。 ・地域資源の活用とKPIの関連性が理解しにくい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的景観を作るためには景観条例を制定してはどうか。 ・現状の小簾紅園、美江寺宿は、観光資源としては弱い。 		
	疑問点			

総合戦略事業06(消防団員確保事業)		所管	総務課			
重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標3-(3).安全な生活環境の確保			
施策	・今後想定される消防団員の減少を防ぐため、地域イベント等での入団勧誘活動を行います。					
主な事業	消防団員確保事業		-			
	-		-			
	-		-			
	-		-			
事業内容	地域防災の担い手である消防団員の安定的な確保は、地域の安全安心にとって必要不可欠な要素であるものの、今後更に団員確保が困難になる状況が予測されるため、地域イベント等での入団勧奨活動等を展開し、消防団員の確保を図る事業		消防団PRグッズ作成 655千円 PRチラシ作成 146千円 PRデザイン作成委託料 38千円			
年度別実施計画	27年度(実績)	事業費(千円)	28年度(計画)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)
	消防団員確保事業	838	消防団員確保事業	716	消防団PRチラシ作成	未定
目標指標(KPI)		単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値	
消防団員数の維持		名	232	244	242	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
-		-	-	-	-	
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	事業が効果的であったことから、消防団員の定数を確保できた。今後も事業を継続し、継続的な消防団員の確保を目指す。				
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり				
	目標達成に有効とは言えない					
今後の方向性 (審議会評価後記入)						

事業	総合戦略事業 06	消防団員確保事業	担当課	総務課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災の観点から重要施策である。 ・団員数増に対する方策が適確であり、成果が出ている。 ・子どもたちへの啓発は良いと思う。 ・次代とともに加入対象者の価値観が変わる中で団員数の維持・向上ができたことは評価できる ・基準値を大きく上回る実績があった。 ・女性団員確保という次年度以降の明確なビジョンがあって良い。 		
	悪かった点			
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちを守ることの必要性を小中学生に教える機会を設けてはどうか。 ・転入者、若い方にも加入してもらえるように啓発してもらいたい。 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は女性募集などさらに知恵を絞って継続してほしい。 		
	疑問点	<ul style="list-style-type: none"> ・団員増加の具体的な内容は？（若者や移住者が加入したのかどうか） 前年度は、生津地区と穂積地区を中心に増加した。今年度新入団員の平均年齢は 34.25 歳（前年度：34.3 歳）。団員の移住者か市内出身者かは把握していない。 		

総合戦略事業07(潜在保育士就業促進事業)

総合戦略事業07(潜在保育士就業促進事業)		所管	幼児支援課			
重点施策該当 ○ まち・ひと・しごと創生総合戦略該当		基本目標1-(2).子育て支援の充実				
施策	・保育士不足に伴う待機児童数の解消に向けて、未就労の潜在保育士等を対象にした職場体験機会を提供し、復帰する保育士の就業促進を図ります。					
主な事業	保育士就職チャレンジ研修					
	-					
	-					
	-					
事業内容	待機児童の解消に向け、保育士資格を有しているもので未就労である潜在保育士等を対象とした職場体験研修会を開催し、就労意識の高揚及び育児休業中の保育士への職場復帰における不安の軽減を図り、就業及び復職へつなげることを目的とする事業			保育士研修用消耗品	105千円	
				研修募集チラシ印刷	318千円	
				チラシ新聞折り込み	351千円	
				広告掲載料	129千円	
				研修時託児料	27千円	
年度別実施計画	27年度(実績)	事業費(千円)	28年度(計画)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)
	保育士就職チャレンジ研修	930	潜在保育士就業促進事業	1,143	潜在保育士就業促進事業	未定
目 標 指 標 (K P I)			単 位	基 準 値	H28.3実績値	H28.3目標値
現場復帰保育士数			名/年	1	1	2
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
自己評価	目標達成に効果があった	新規採用できた保育士が1名あり、事業が効果的であったことから事業を継続しKPIの達成を目指す。				
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり				
	目標達成に有効とは言えない					
今後の方向性 (審議会評価後記入)						

事業	総合戦略事業 07	潜在保育士就業促進事業	担当課	幼児支援課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・離職対策は評価できる。 ・復帰者数が少なくても、潜在保育士の人物像等が把握でき、採用がスムーズになると思われる。 ・すぐに効果は無くても、将来的な復帰につながるのではないか。 ・問題点が洗い出された点は評価できる。 ・フリーペーパーを使い、市内だけでなく市外にも募集をかけたのは良かった。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・1名採用という実績値は低い。 		
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在保育士が復帰できない原因の解決策を強く推進すべき。 ・待機児童解消のためには、保育士の給与、就業時間の改善が必要では。 ・数値だけでなく、質（意欲）が重要。継続しPRすることが大切。 ・ターゲット、日程変更などを取り入れ発展的に継続して欲しい。 ・研修前と後で意識変化のアンケートを行って欲しい。 ・市が資格所有者を調べ、直接交渉してはどうか。 <p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童の問題解決は必須であるため、継続して行い保育士の確保を目指してほしい。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の事業より優先して本事業を進めて欲しい。 ・保育所の老朽化も対応してもらいたい。 ・今後の保育需要を見据え、正職員の採用を増やして欲しい。 ・人の募集には、求人誌など、もっと経費をかけて実施すべき。 		
	疑問点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達の原因は何か。 現在の保育の仕方が、自分が実施してきた時代の保育感とかけ離れていないかという不安と、今のお母さんとの世代間ギャップを感じて就労に一步が踏み出せない。 不安感を払拭するため、保育所長より相談にのっているが、難しい状況である。 		

総合戦略事業08(創業者支援事業)		所管	企画財政課、商工農政課、幼児支援課						
重点施策該当	-	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標2-(1).雇用・勤労者福祉の充実						
施策	・新たな雇用の創出を行う、創業者の起業（創業）を支援します。								
主な事業	①瑞穂市NPO法人設立等奨励事業		-						
	②創業塾開催支援業務		-						
	③幼児運動教室業務		-						
	-		-						
事業内容	①地域における福祉に関するNPO法人等の創業の芽を拡大創出することを目的に、NPO法人設立支援、創業初期経営支援、市民活動支援を行うもの ②地域で創業を志す事業者の増大を図るため、創業に必要な経営ノウハウの習得を目指し、創業塾を開催するもの ③児童育成と健康保持を目的に行っている公益的事業者（NPO法人）が実施する幼児運動教室事業に対し、指導者の雇用・育成等に係る市民活動支援を行うもの			①NPO法人支援補助金(4件) 3,000千円 ②委託料 972千円 創業者セミナー募集広告料 130千円 ③委託料 348千円					
年度別実施計画	27年度(実績)		事業費(千円)	28年度(計画)		事業費(千円)	29年度(計画)		事業費(千円)
	①NPO法人設立等奨励事業		3,000	-	①NPO法人設立等奨励事業		-	-	
	②創業塾開催支援業務		1,102	創業者支援事業		1,311	創業者支援事業		未定
	③幼児運動教室業務		348	幼児運動教室業務		1,225	幼児運動教室業務		未定
目標指標(KPI)			単位	基準値	H28.3実績値		H28.3目標値		
企業塾講座受講者数			名	-	17		20		
-			-	-	-		-		
-			-	-	-		-		
-			-	-	-		-		
-			-	-	-		-		
自己評価	目標達成に相当程度効果があつた	(NPO) 2事業者の設立支援と2事業者の市民活動支援による全4事業者の支援事業を実施する事が出来た。(創業塾)企業塾講座受講者数20名を目標にしていたが、受講者数は17名で、目標は達成する事が出来なかった。本事業の周知の手法や、募集方法について検討する必要性を感じた。事業実施主体を見直し(市ではなく商工会等)即効性のある参加者を得られるよう努力が必要と考える。							
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効と見做された	コメントは別紙のとおり							
	目標達成に有効とは言えない								
今後の方向性 (審議会評価後記入)									

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業実績評価(平成27年度分)

瑞穂市総合計画等評価審議会のコメント

事業	総合戦略事業 08	創業者支援事業	担当課	企画財政課、 商工農政課 幼児支援課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児運動教室については、NPO の支援と、子供の育成という両面において良い事業であると思われる。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ N P O 支援とはなっているが起業創業支援となっているのか。 ・ 創業塾の意義は高いが目標達成に対し効果的か疑問がある。 ・ 創業の立ち上げの初期段階に対する施策が無かったのでは。 ・ 新たな雇用の創出に至らなかったのが残念である。 ・ 幼児運動教室は、創業者支援の要素が小さい。 		
	提案・要望点	<p>< 事業内容について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 起業のための環境整備・補助（優遇制度）が必要では。 ・ 創業塾のターゲットは薄く広いと考えられるため、他市との連携等、効率的な運営をすると良いのではないか。 ・ 起業者を増やすには創業意欲のある人の発掘が必要。 ・ 市が起業環境を整備し、創業支援体制を整えることが必要。 ・ 創業のタイミングは人によって異なるため、通年で相談にのれる体制が望ましい。 ・ 瑞穂市単独でなく、広域で対応すれば人は集まるのではないか。 <p>< 事業継続について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続してもらいたい。 <p>< K P I（目標指標）について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K P I が高すぎる印象がある。 ・ K P I の見直しが必要ではないか。 		
	疑問点			

総合戦略事業09(妊娠に向けた支援事業)		所管	健康推進課				
重点施策該当	-	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標1-(2).子育て支援の充実				
施策	・安心、安全な妊娠出産のための予防接種を実施します。						
主な事業	成人風しん予防接種業務		-				
	-		-				
	-		-				
	-		-				
事業内容	妊娠初期において風しんに罹患すると生まれてくる子どもに「先天性風しん症候群」が発生する確率が高いため、風しんの流行の抑制及び先天性風しん症候群の発生予防のために家族みんなで予防し、安心して妊娠・出産できる環境を構築することを目的とし、支援することで少子化対策を行う事業				委託料 505千円 アンケート郵送料 9千円		
年度別実施計画	27年度(実績)		28年度(計画)		29年度(計画)		
	成人風しん予防接種業務		事業費(千円) 515	成人風しん予防接種業務		事業費(千円) 594	成人風しん予防接種業務 未定
目標指標(KPI)			単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値	
先天性風しん症候群の発生			件	0	0	0	
-			-	-	-	-	
-			-	-	-	-	
-			-	-	-	-	
-			-	-	-	-	
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	事業が効果的であったことから事業を継続し、継続的に先天性風しん症候群の発生ゼロを目指す。					
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり					
	目標達成に有効とは言えない						
今後の方向性 (審議会評価後記入)							

事業	総合戦略事業 09	妊娠に向けた支援事業	担当課	健康推進課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産促進の観点から不可欠な事業である。 ・ 内容的に有効な事業なので是非継続して欲しい。 ・ 対象拡大により、より多くの人の将来の不安が取り除かれ、効果的であったと思われる。 		
	悪かった点			
	提案・要望点	<p>< 事業内容について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後継続する予算をどのように確保するのが課題では。 ・ もっと他にすること（妊婦のニーズ）がないか。 ・ 費用をかけずに、より効果的な啓発方法を検討してほしい。 ・ 住みやすいまち、選ばれるまちのためには地道な支援が必要である。 ・ 予防接種を受けていない人にもアンケートを取ってほしい。 ・ 事業の周知が足りず受診できなかったので、PR方法を工夫して欲しい。 ・ 出産者における受診割合を調査してはどうか。 <p>< 事業継続について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も継続を希望する。 ・ 普段からこの事業を利用できるようにはならないのか。 <p>< K P I（目標指標）について ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ K P Iの設定は接種者の数にすべきでは？ ・ K P I見直しが必要では。 		
	疑問点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 希望者の今後の推移の見込みはどうなっているのか。 全国的な風しんの流行を踏まえ、緊急対策「岐阜県風しんワクチン接種促進緊急対策事業」を手始めとして平成25年7月1日から実施してきたもので、接種者数はH25年度316人、H26年度87人、H27年度68人と減少してきている。さらに、子どもの風しん予防接種を2回接種すると、抗体ができない場合は5%以下と言われており、平成2年4月2日以降の出生者は2回接種の機会があり、減少していくと考える。 		

総合戦略事業10(民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点創出事業)		所管	企画財政課			
重点施策該当	○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当	基本目標4-(2)地域ブランドの創造・魅力向上			
施策	・地域資源としてボウリング場を活用することにより、主に若者が集う交流の場づくりを行います。					
主な事業	①瑞穂市ブランド創出・魅力向上推進業務		-			
	②地域ブランド戦略策定		-			
	-		-			
	-		-			
事業内容	①地域活性化拠点における先導事業の実施、情報発信・プロモーション事業、地域活性化拠点の魅力化 ②地域活性化拠点及び周辺環境の現状調査・課題分析、地域活性化拠点の創出・活用に向けた戦略立案、ワーキング会議の設置・運営		①委託料 32,687千円 消耗品費 23千円 ②委託料 4,320千円			
年度別実施計画	27年度(実績)	事業費(千円)	28年度(計画)	事業費(千円)	29年度(計画)	事業費(千円)
	ブランド創出・魅力向上推進業務	32,710	民間施設(ボウリング場)を活用した地域活性化拠点(小さな拠点)強化事業	41,000	検討中	未定
	地域ブランド戦略策定	4,320	地域ブランド戦略検討	389	地域ブランド戦略検討	未定
目標指標(KPI)			単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値
地域活性化拠点(小さな拠点)の総利用者数			人	-	10,648	10,000
若者支援・地域活性化イベント等の企画実施			回	-	9	15
若者支援・地域活性化イベント等の総参加者			人	-	8,578	2,000
-			-	-	-	-
-			-	-	-	-
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	短期間での実施となった為、企画実施数が少なくなったが、ブランド戦略検討会議をはじめ、関係機関が協力し、岐阜グランドポウルマルシェ、婚活イベント等の充実したイベントを多数の方に参加していただき実施する事ができた。また、瑞穂市のプロモーションとして俳優平山浩行氏出演のPRビデオ、PRポスターを作成し、瑞穂市の魅力を広く発信するためのツールを制作する事が出来た。				
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり				
	目標達成に有効とは言えない					
今後の方向性 (審議会評価後記入)						

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業実績評価(平成27年度分)

瑞穂市総合計画等評価審議会のコメント

事業	総合戦略事業 10	民間施設（ボウリング場）を活用した地域活性化拠点創出事業	担当課	企画財政課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・準備期間がない中では成功といえるのでは。 ・短期間であったが瑞穂市をPRすることができ、若者も参加しやすく次も期待できるような内容で良かった。 		
	悪かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・継続性の問題を検討すべき。 ・単発のイベントであったが今後の起爆剤とできるか。 ・費用対効果では、その成果はどうか。 		
	提案・要望点	<p><事業継続について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続した効果を見るべき。 ・ブランドの確立には、継続的な取組みが必要であると思われる。 ・単発事業として終わらせないことが重要。 		
	疑問点			

総合戦略事業11(空家利活用推進事業)

		所管	企画財政課、都市開発課				
重点施策該当		○	まち・ひと・しごと創生総合戦略該当				
		基本目標3-(1).人口定着のための住宅・宅地の確保					
施策	・ファミリー世帯の移住・定住を図るため、市内の空家等の状況把握とその後の利活用を推進します。						
主な事業	瑞穂市空家状況調査業務		-				
	-		-				
	-		-				
	-		-				
事業内容	地方への新しい流れをつくるため、空家の調査を実施し、使用可能な空家を地域資源として捉え、移住・定住や福祉転用などの利活用を推進することを目的とする。市内全域の戸建て空家（建築物及びこれに附属する工作物であって居住その他の使用がされていない事が常態であるもの。集合住宅は除く）を対象とする実態調査を行い、空家の住所、地番、管理状態等の詳細情報及び位置図、写真データ等を収集・整理する事業。			委託料	10,296千円		
年度別実施計画	27年度(実績)		28年度(計画)		29年度(計画)		
	空家状況調査業務		事業費(千円)	10,296	空家等対策計画策定業務等	事業費(千円)	15,600
					空家利活用検討等	事業費(千円)	
					未定		
目 標 指 標 (KPI)			単位	基準値	H28.3実績値	H28.3目標値	
市域の調査面積			%	-	100	80	
空家利活用件数			件	-	0	30	
-			-	-	-	-	
-			-	-	-	-	
-			-	-	-	-	
自己評価	目標達成に非常に効果的であった	空家等対策基本計画策定に向けて、空家候補の机上抽出を行ない、その机上抽出地の現地調査を実施し空家の絞り込みを行った。計画していたとおり、市内全域について空家候補の管理状態等の詳細情報及び位置図、写真データ等を収集・整理する事ができた。					
総合計画等評価 審議会評価	目標達成に有効であった	コメントは別紙のとおり					
	目標達成に有効とは言えない						
今後の方向性 (審議会評価後記入)							

瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業実績評価(平成27年度分)

瑞穂市総合計画等評価審議会のコメント

事業	総合戦略事業 11	空家利活用推進事業	担当課	企画財政課 都市開発課
コメント	良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握がまず必要であり、状況が全く把握できない状態から調査が進行した点は評価できる。 ・全ての空家を調査できたことは、計画的で素晴らしい。 		
	悪かった点			
	提案・要望点	<p><事業内容について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まだ対策途中であり、移住定住と空き家の活用をどのように結びつけるかが今後の課題である。 ・既存賃貸事業との住み分けはどうなるのか。 		
	疑問点	<ul style="list-style-type: none"> ・これからどのようにするのか。市が有効活用できるよう検討していくのか。 <p>現在実施している空家候補対象者へのアンケート結果を分析し、その内容により、空家バンクのようなものを構築するのかなど今後の対策を決定したいと考えている。</p>		